

## 第8回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会 報告

平成21年3月22日(日)別府市のビーコンプラザ3階国際会議室において、「第8回大分県高次脳機能障害リハビリテーション講習会」を開催しました。156名もの方に参加して頂きました(表1参照)。

講演は、「高次脳機能障がい者の支援—家族として精神科医として—」と題してなやクリニック副院長納谷敦夫先生(精神保健指定医)に御講演頂きました。

納谷先生は、大阪府職員として医療福祉行政にも携わり、現在は「なやクリニック」にて高次脳機能外来や精神科デイケアを行っています。

講演は意識障害からの回復過程やその後の精神症状、てんかん、うつ等、高次脳機能障害の症状についてだけでなく、受傷後起こりやすい精神症状についてもお話して頂きました。また、家族にもたらす精神的な負担、家族内の変化などについても具体的な事例を交え御説明頂きました。

当事者や家族を支援するためには医療、福祉、行政など包括的な関わりを長期的に行っていく必要があることを再認識することが出来ました。

今回の公演では医療職種に限らず様々な職種の方が参加されていました。

次回の講習会は、9月6日(日)に橋本圭司先生(国立成育医療センター リハ科医長)をお招きする予定としていますので、ご参加の程宜しくお願い致します。

表1 参加者区分

	人数
医療関係者	73名
福祉関係者	3名
家族会	44名
行政	7名
学生	5名
一般	10名
その他	14名
計	156名



講師 納谷敦夫先生



講習会の様子